

緑・水・大気・ごみと資源・エネルギー・ひと

# おうめ環境ニュース vol.18



おうめ環境ニュース(令和8年3月15日発行)

発行:青梅市環境政策課/おうめ環境市民会議

所在地:東京都青梅市東青梅1-11-1

電話:0428-22-1111(内線2536・2537)

1面:青梅にすむ野鳥たち

2~3面:知っておきたい環境問題:多くの生き物が共存する自然の営み

4面:青梅市の環境についての計画を策定しました

## スズメ

スズメ目スズメ科 留鳥  
体長: 14.5cm



短くて太めで、草の種子を食べるくちばしをしています。日本中に分布していて、山里や市街地など人の暮らす場所に生息しています。渡りはしないと考えられていますが、新潟県から岡山県、愛知県、関東地方などへ移動するものはいます。家屋の軒下など雨や天敵から守られ、穀物や虫など餌の得られる場所をすみかとしてきたため、農家が減り軒下や隙間の多い住宅が減った現在では数を減らしています。縄張り意識が低く、巣の間隔が50cmくらいしか離れていないこともあります。日本のスズメは、世界的に見ると「ホッペの斑点」と「オス・メスが同色」という特徴があり、身を寄せ合い人の生活圏に棲む「かわいい」存在です。昔話の「舌切り雀」などに登場する日本人にとってちばん身近な鳥です。

【写真:神山 利文氏】令和5年2月撮影。



## 青梅にすむ野鳥たち

## キセキレイ(オス)

スズメ目キセキレイ科  
留鳥(北海道では夏鳥) 体長:20cm



平地から高山までの水辺、川の上流部や溪流など小さな流れに沿って生活するものが多く、他の種類のセグロセキレイ(中流部)、ハクセキレイ(下流部)と棲み分けが見られます。いつも尾を上下に動かす習性があるので、石たたき・庭たたきなどの異名を持っています。「チチツ チチツ」と鳴きながら大きな波形をえがいて飛びます。夏は黄色い部分は鮮やかになり、オスは喉が黒くなり縄張り争いをします。

【写真:神山 利文氏】令和6年5月撮影 (霞川遊歩道)。

環境月間のパネル展示

## おうめ環境フェスタ2026開催予定



「おうめ環境マップ」市役所で配布しています



おうめ環境フェスタは、自然と共生するくらしの提案や、環境活動に関わる人々のネットワークづくりを目的として開催しています。

今年も6月の環境月間中に、市役所1階ロビーで環境保全体体のパネル展示を行うほか、「おうめ環境マップ」のリニューアルに伴う掲載団体・法人の追加募集、講演会の開催を予定しています。

詳細は、今後の広報おうめなどでお知らせしていきます。ぜひ、ご参加ください!

